



国土交通省からの情報提供 ほこみち(歩行者利便増進道路)

国土交通省道路局
環境安全・防災課



人中心の空間として再編した、まちのメインストリート



曜日や時間帯に応じて道路空間の使い方が変わるマネジメント

歩行者利便増進道路とは

賑わいのある道路空間を構築するための
道路の指定制度

昨年度創設された新たな制度!!

道路法等の一部を改正する法律

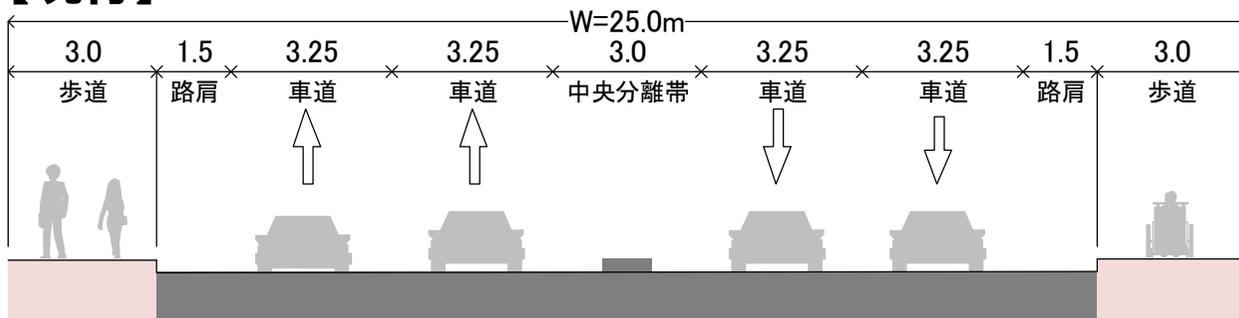
R2.5.20 成立

R2.5.27 公布

R2.11.25 施行

①歩行者の利便増進のための構造基準の策定

【現行】



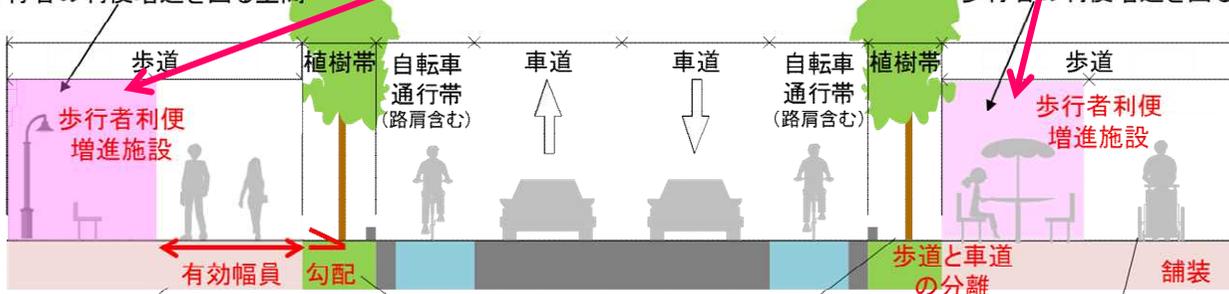
車道を4車線から
2車線に減らし、
歩道を拡幅

歩行者の利便増進を図る空間

【改築後】

歩行者の利便増進を図る空間

歩行者の利便増進を図る空間



歩道等の中に
**“歩行者の利便
増進を図る空間”**
を定めることが
可能に!!

バリアフリー基準

- ・車いす同士がすれ違える歩道の有効幅員 (2.0m以上) を確保

バリアフリー基準

- ・歩道の縦断勾配 5%以下 (特例値8%)
- ・歩道の横断勾配 1%以下 (特例値2%)

バリアフリー基準

- ・植樹帯や並木や柵の設置
- ・縁石の設置 高さ15cm以上

バリアフリー基準

- ・透水性舗装を活用し、平坦で滑りにくく水はけの良い仕上げとする

② 利便増進のための道路占用を誘導する仕組みの導入



- 特例区域では、占用がより柔軟に認められる
- 占用者を幅広く公募し、民間の創意工夫を活用した空間づくりが可能に
- 公募により選定された場合には、最長20年の占用が可能
(テラス付きの飲食店など初期投資の高い施設も参入しやすく)

全国ほこみちMAP

全国の国と19自治体
61の道路で展開中～



今後も指定予定箇所、多数

○ほこみち制度創設から1年。ほこみちインスパイアフォーラムを開催。

日時：2021年12月10日（金）15時～18時

場所：竹芝ポートホール

主催：ほこみちプロジェクト事務局 国土交通省道路局

参加：現地約140名、WEB約400名

①ほこみちインスパイアキーノート（WEBで中継）
「重松健が見たニューヨークオープンストリート革命」
コロナで大変革が起きていたNYの公共空間のいま
Laguarda.Low Architects 共同代表 重松 健

②ほこみちインスパイアレポート

1. 大阪市（難波駅前、御堂筋）
2. 神戸市（三宮中央通り）
3. 姫路市（大手前通り）
4. 福井市（ふくみち）
5. 新潟市（新潟2キロ）
6. 丸の内（Marunouchi Street Park）
7. 建設コンサルタンツ協会（ほこみち活用提案）

③ほこみちインスパイアトーク
「ほこみちは社会に何をもたらすのか」道路が開かれる
ことで起こる人と社会の変化

(有)ハートビートプラン 代表 泉 英明
(株)E-DESIGN 代表 忽那 裕樹
(株)マグネット 佐藤 勇介
国土交通政策研究所 梶原ちえみ

その他、①泉山壘威のインスパイアライブラリー、②出張キッチンカー、
③ほこみちインスパイアストリートファニチャーの会場イベントも実施 7



司会進行は、環境安全・
防災課 補佐・係長と
山名ほこみち広報アドバイザー



一部講師は、WEB参加
聴講は、現地とWEB方式
の二通りで準備

○ ほこみちを全国に普及させていき、ほこみちをまちの「メインストリート」としてブランド化

1年目(2021年):先進自治体から波及

- ・2月ほこみち全国初指定(御堂筋、三宮中央通り、大手前通り)
- ・縦割り打破会議で連携事例を打ち出し
- ・コロナ占用特例からほこみちへの移行説明会
- ・ほこみちマーク、SNSでの発信、プロモーション動画
- ・ほこみちフォーラム



ほこみち研究会HP、Facebook

ほこみちの普及



ほこみちフォーラム (R3.12.10)

2年目(2022年):全国各地に広がる

- ・ほこみちガイドライン関係(多様なニーズ+バリアフリー)
- ・ほこみち〇〇会議が全国各地で開催
- ・ほこみち写真集
- ・ほこみちに関する製品開発が進む
- ・バスタや道の駅との連携



ほこみち関連商品の開発

3年目(2023年):全国に定着、ブランド化

- ・ほこみちのための道路改良が各地で実施
- ・ほこみち沿道の地価が上がる



ブランド化